

TOEIC® Programの紹介

資料更新版

2023年6月26日(月)
第3回大学入学者選抜における総合的な英語力
評価を推進するためのワーキンググループ
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

TOEIC[®] Program

TOEIC[®] Listening & Reading Test

TOEIC[®] Speaking & Writing Tests

TOEIC Bridge[®] Listening & Reading Tests

TOEIC Bridge[®] Speaking & Writing Tests

TOEIC® Program

TOEIC® Tests

- **英語を母国語としない人が、日常および業務上の国際コミュニケーションの場で必要とされる英語能力を測定するテスト（世界160カ国で実施）**
 - ・L&RはPaper-Basedの多肢選択式マークシート
10点～990点のスコアレンジで評価
 - ・S&WはComputer-Based
0点～200点のスコアレンジで評価
 - ・どちらも英語学習初級者からネイティブスピーカーレベルの英語力を評価（CEFR基準でA1からC1レベル）

CEFRとTOEIC® Testsスコアとの関係

Test/Test Section	Total Score Scale Range	Minimum Score				
		A1	A2	B1	B2	C1
TOEIC Listening and Reading Total¹						
TOEIC Listening	5–495	60	110	275	400	490
TOEIC Reading	5–495	60	115	275	385	455 ⁴
TOEIC Speaking and Writing²						
TOEIC Speaking	0–200	50	90	120	160	180 ⁵
TOEIC Writing	0–200	30	70	120	150	180 ⁵

詳細は下記Webサイトへ

https://www.iibc-global.org/toEIC/official_data/toEIC_cefr.html

TOEIC[®] Tests 受験料・会場

公開テスト	TOEIC L&R	TOEIC S&W	4技能計
受験料	7,810円	10,450円	18,260円

* 価格は全て税込

- TOEIC L&R公開テスト 会場数および実施頻度 (2023年度)**
 全国47都道府県、67都市
 各月1回実施 (12回) + 6月、10月 (2回) 合計14回
 午前・午後の1日2回実施
- TOEIC S&W公開テスト 会場数および実施頻度 (2023年度)**
 全国12都道府県、12都市
 北海道、宮城、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡
 毎月1回 午前ならびに午後実施 計年間24回

TOEIC® Program

TOEIC Bridge® Tests

- **初中級レベルの英語コミュニケーションを測定するテスト**
TOEIC Testsよりも日常的で身近なコミュニケーション
場面や素材から出題
 - ・L&RはPaper-Basedの多肢選択式マークシート
 - ・S&WはComputer-Based（TOEIC Testsと同様）
 - ・スコアレンジはL、R、S、Wすべて15点～50点
 - ・CEFR基準でA1からB1レベルまでを評価

CEFRとTOEIC Bridge[®] Testsスコアとの関係

Redesigned TOEIC Bridge Tests	Score Scale Range	Minimum Score		
		A1	A2	B1
Listening	15-50	16	26	39
Reading	15-50	19	34	45
Speaking	15-50	23	37	43
Writing	15-50	20	32	43

TOEIC Bridge[®] L&R と TOEIC[®] L&Rの スコア比較表

TOEIC Bridge L&R	30	40	50	60	70	80	90	91~
TOEIC L&R	~120	210	265	325	400	490	605	610~

TOEIC Bridge[®] Tests 受験料・会場

公開テスト	Bridge L&R	Bridge S&W	4技能計
受験料	4,950円	9,350円	14,300円

* 価格は全て税込

■ TOEIC Bridge L&R公開テスト 会場数および実施頻度（2023年度） 全国22都市

(札幌、岩手、宮城、水戸・県北、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、愛媛、福岡、熊本、沖縄)

年4回実施 5月、8月、10月、2月

■ TOEIC Bridge S&W公開テスト 会場数および実施頻度（2023年度） 全国12都市

(北海道、宮城、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡)

年4回実施 5月、8月、10月、2月

団体特別受験制度について (IP : Institutional Program)

- 各学校の都合に合わせて、実施することが可能
- すべてのTOEIC Programでオンラインでの受験が可能
(TOEIC L&R、TOEIC Bridge L&Rともに、マークシート方式のPBTに加え、オンラインでの実施も可能)
- TOEIC L&Rオンラインでは、CAT (Computer Adaptive Test) の仕組みを取り入れており、試験時間は約1時間
(スコアの持つ意味は2時間のPBTマークシートと同じ)
- テスト結果はスコアレポートにて提供される

大学入学試験におけるTOEIC[®] Programの 活用状況【2023年度】

- TOEIC[®] Program活用校数は **約370校**
うちTOEIC Bridge Tests活用は**約40校**

(TOEIC L&R活用例)

- ・大学の推薦入試の出願要件として
- ・大学院入試への出願要件として

(TOEIC Bridge L&R活用例)

- ・付属や系列の高校から大学への内部進学者選抜
- ・大学の推薦入試の出願要件として

試験会場の拡充について

- TOEIC L&Rは既に全都道府県に会場を設けている
- 2023年度TOEIC L&Rの6月実施を増回
(6/10初めての土曜日実施)
- 地方会場での実施回数増を随時実施
- 2024年度のTOEIC Bridge実施月および実施回数増について検討
- TOEIC Bridge L&R/S&Wの受験地を拡大中
- 公開テストにおいては、TOEIC L&Rのオンライン化は検討していない

* 新たな取り組み事項については、決定された後に随時HP上で発表していきます。

成績提供の利便性向上(1)

団体担当者が公開テストのスコアをWeb上で確認できる「公開テストスコア確認サービス」* を2022年6月の公開テストより提供開始済

*受験者からTOEIC Tests申込サイト経由で提出されたスコアを、団体担当者がWebで確認・ダウンロードすることができるサービス。大学入試における英語外部試験利用に活用いただけます。

詳細は下記Webサイトへ

<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2022/p196.html>

成績提供の利便性向上(2)

公開テストの公式認定証の情報をWeb上からブロックチェーンを利用したデジタル認定証発行サービスを通じて確認できる「デジタル公式認定証*」の発行を2023年4月の公開テストより提供開始済

*従来の紙媒体の提出ではなく、デジタルにて提出（URL、PDF等）を行い、受領側がデジタル認定証環境にアクセスすることで、その真正性を確認することができます。

詳細は下記Webサイトへ

<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2023/p220.html>

障がいのある方への対応

障がいや疾患のある方につきましては、プライオリティサポートのご依頼をいただくことで、ご希望に沿った受験環境を可能な範囲でご用意いたします。

ただし、障がいの内容や程度は一人一人異なり、受験時に配慮する内容も異なってまいりますので、受験にあたっては必ずお申込の前にご連絡いただき、必要に応じて電話・メール等でご要望を伺いながら受験環境を決定するプロセスをとっております。

詳細は下記Webサイトへ

https://www.iibc-global.org/toEIC/priority_support.html

第三者による評価に関して

試験の質や水準等を含むTOEIC Programについての独自の検証調査は、テスト開発元のETSが随時行っており、その結果レポートが公表されている。

2022年度にコロナウイルス感染症対策、および公開テストの運営・運用の観点における第三者評価として、「特定非営利活動法人 全国検定振興機構」による会場運営評価を受審。受審結果をホームページにて掲載した。

詳細は下記Webサイトへ

<https://www.iibc-global.org/info/important/imp33.html>

オンライン受験における不正行為防止対策 (団体特別受験制度のみ)

以下の2種類の試験監視を要請に応じオンライン受験時に実施

- Zoomを用いた試験官によるリモート監視（目視）
- Webカメラを用いたAI監視サービス（録画）
 - ・ 受験中の様子を録画したデータから、AIが【受験者の入れ替わり】【複数人の映り込み】【不正の可能性が高い目線の動き】などを解析
 - ・ 団体担当者は、AIによる不正検知結果と録画データ（テスト開始直前に撮影する本人確認書類を含む）を専用サイト上で確認できる
 - ・ 録画データにはAIによる不正検知のポイントがマークされているため、的を絞ってチェックすることが可能
- 一部のAI機能精度向上

TOEIC® Programに関するWeb Site

IIBC公式サイト

(TOEIC® Programに関する日本語での説明)

<https://www.iibc-global.org>

* 各TOEIC Programの具体的問題例についても
こちらのWebサイトからご覧いただけます。

ETSホームページ

(TOEIC® Program 関連Research Report等)

<https://www.ets.org>

TOEIC® Programに関する問合せ先

IIBC試験運営センター TEL : 03-5521-6033
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル

名古屋事業所 TEL : 052-220-0282

大阪事業所 TEL : 06-6258-0222

(土・日・祝日・年末年始を除く10:00~17:00)

【参考情報】

TOEIC[®] Listening & Reading Testの特長

- PBT(Paper-Based Test)、多肢選択式マークシート
- 英語学習初級者からネイティブスピーカーレベルの英語力を評価（CEFR基準でA1からC1レベル）
- Listening 約45分100問/Reading 75分100問
計約2時間で200問
- 10点～990点のスコアレンジで評価
- 評価基準は常に一定（Equatingが施されている）
- スコアに応じたScore Descriptorの提供

TOEIC® Listening & Reading Testの構成

Part	Name of each part	日本語	問題数
Listening Section			
1	Photographs	写真描写問題	6
2	Question-Response	応答問題	25
3	Conversations (with and without a visual image)	会話問題	39 (3 x 13)
4	Talks (with and without a visual image)	説明文問題	30 (3 x 10)
Reading Section			
5	Incomplete Sentences	短文穴埋め問題	30
6	Text Completion	長文穴埋め問題	16 (4 x 4)
7	Single Passages	1つの文書	29
	Multiple Passages	複数の文書	25

【参考情報】

TOEIC[®] Listening & Reading Test (オンライン) の特長 (団体特別受験制度 <IPテスト> のみ)

- インターネット環境があればどこでも受験可能
- PC (Windows・MacOS) ・タブレット (iPad) に対応
- テスト実施期間中であれば、24時間好きなタイミングで受験可能
- 試験時間は約1時間 (Paper版の半分)
- テスト結果 (スコア) は試験終了後に確認可能
- スコアの意味は、Paperもオンラインも変わらない

TOEIC® Listening & Reading Test (IPオンライン) の構成

UNIT	Name of each part	パート名	問題数
リスニングセクション (約25分間)			
UNIT ONE	Photographs	写真描写問題	3
	Question-Response	応答問題	4
	Conversations (with and without a visual image)	会話問題	9
	Talks (with and without a visual image)	説明文問題	9
UNIT TWO	Question-Response	応答問題	5
	Conversations (with and without a visual image)	会話問題	9
	Talks (with and without a visual image)	説明文問題	6
リーディングセクション (37分間)			
UNIT ONE (約23分間)	Incomplete Sentences	短文穴埋め問題	5
	Text Completion	長文穴埋め問題	4
	Reading Comprehension	読解問題	16
UNIT TWO (約14分間)	Incomplete Sentences	短文穴埋め問題	7
	Text Completion	長文穴埋め問題	4
	Reading Comprehension	読解問題	9

多くの企業・団体、学校で活用されているTOEIC L&R IPテスト（オンライン）では、CATが用いられています。CATとは、Computer Adaptive Testの略称で、**受験者の能力に合わせてリアルタイムで出題問題が変化するテストシステム**のことです。

最初のステージ（Unit One）で全受験者に25問の同じ問題セットが出題され、次のステージ（Unit Two）では最初のステージでの正誤割合に応じて受験者ごとに異なる20問の問題セットが出題されます。そのため、**少ない問題数（＝短時間）で受験者の能力（スコア）を算出することが可能**になります。またその場で採点し、テスト終了後すぐにスコアを表示することも可能となります。

TOEIC® Speaking & Writing Testsの特長

- ・国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な「話す」「書く」能力を直接測定するテスト
- ・ETSのiBT (Internet-based test) というシステムを基に実施
 - * インターネットを用いることで、問題の配信や解答データの送信が24時間可能となるため、全世界での実施を効率的に行うことが可能となる。特に採点においては、大規模な対面式テストでは困難な「効率的で標準化された、公平な」方法でのフィードバックが可能となる
- ・試験会場のPCにインターネットを介してテスト問題を配信
- ・PCに音声を吹き込む、あるいは文字を入力して解答
- ・録音された音声や入力された文章をETS認定のHuman Raterが採点

TOEIC[®] Speaking Testの構成

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Read a text aloud (音読問題)	2	各問45秒 (準備時間 各45秒)	0~3
Describe a picture (写真描写問題)	2	30秒 (準備時間 45秒)	0~3
Respond to questions (応答問題)	3	15秒または30秒 (準備時間なし)	0~3
Respond to questions using information provided (提示された情報に基づく 応答問題)	3	15秒または30秒 (準備時間 45秒)	0~3
Express an opinion (意見を述べる問題)	1	60秒 (準備時間 45秒)	0~5

TOEIC[®] Writing Testの構成

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Write a sentence based on a picture (写真描写問題)	5	5問で8分	0~3
Respond to a written request (Eメール作成問題)	2	各問10分	0~4
Write an opinion essay (意見を記述する問題)	1	30分	0~5

TOEIC Bridge[®] Listening & Reading Testsの特長

- PBT(Paper-Based Test)、多肢選択式マークシート
- 英語学習初級・中級者レベルの英語力を評価
(CEFR基準でA1からB1レベル)
- Listening 25分50問/Reading 35分50問
計1時間で100問
- Listening、Readingとも15点～50点
合計30点～100点のスコアレンジで評価
- 評価基準は常に一定 (Equatingが施されている)
- スコアに応じたScore Descriptorの提供

TOEIC Bridge[®] Listening & Reading Testsの構成

Part	Name of each part	日本語	問題数
Listening Section			
1	Four Pictures	画像選択問題	6
2	Question-Response	応答問題	20
3	Conversations (with and without a visual image)	会話問題	10
4	Talks (with and without a visual image)	説明文問題	14
Reading Section			
5	Sentences Completion	短文穴埋め問題	15
6	Text Completion	長文穴埋め問題	15
7	Reading Comprehension	読解問題	20

TOEIC Bridge[®] Speaking & Writing Testsの特長

- 英語学習初級者から中級者を対象とした、日常生活で生きる英語で「話す」「書く」能力を測定するテスト
- ETSのiBT (Internet-based test) というシステムを基に実施
- 試験会場のPCにインターネットを介してテスト問題を配信
- PCに音声を吹き込む、あるいは文字を入力して解答
- 録音された音声や入力された文章をETS認定のHuman Raterが採点

TOEIC Bridge[®] Speaking & Writing Testsの特長 (続き)

- ・CEFR基準でA1からB1レベルまでを評価
- ・Speaking 15分 8問/Writing 37分 9問
- ・Speaking、Writingとも15点～50点のスコアレンジで評価
- ・スコアに応じたProficiency Level Descriptor
(Speaking、Writing 共に4段階)
- ・評価基準は常に一定 (Equatingが施されている)
- ・Human RaterがRubricに沿って評価

TOEIC Bridge[®] Speaking Testの構成

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Read a Short Text Aloud (音読問題)	2	各問30秒 (準備時間 各25秒)	0~3
Describe a Photograph (写真描写問題)	2	各問30秒 (準備時間 各30秒)	0~3
Listen and Retell (聞いたことを伝える問題)	1	30秒 (準備時間 15秒)	0~3
Short Interaction (短い応答問題)	1	30秒 (準備時間 30秒)	0~3
Tell a Story (ストーリー作成問題)	1	60秒 (準備時間 45秒)	0~4
Make and Support a Recommendation (アドバイスをする問題)	1	60秒 (準備時間 60秒)	0~4

TOEIC Bridge[®] Writing Testの構成

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Build a sentence (文を組み立てる問題)	3	各問60秒	0~2
Write a Sentence (写真描写問題)	3	各問90秒	0~3
Respond to a Brief Message (短文メッセージ返信問題)	1	8分	0~3
Write a Narrative (ストーリー記述問題)	1	10分	0~3
Respond to an Extended Message (長文メッセージ返信問題)	1	10分	0~4